ストロンボリ／神の土地（1949）

STROMBOLI, TERRA DI DIO
STROMBOLI

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 イタリア／アメリカ
色彩 B&W
時間 109分
初公開日 1953/10/31
公開情報 映配

【解説】
夫と共に観た「無防備都市」を観てショックを受けたバーグマンは、一人で「戦火のかなた」を観に行く。そして有名な＜ｔｉａｍｏしかイタリア語を知らないスウェーデン女優が必要な時には……＞という売り込みの手紙を送り、それに感激したロッセリーニの返事が本作の構想だった。ＲＫＯを後ろ盾に伊米合作で進められた企画は、二人の不倫騒動で暗礁に乗り上げかけもしたが、なんとか完成。バーグマンは結果的にハリウッドと夫と子を捨てたのである。その情熱がほとばしる火の山の映画。主人公カーリンは夫と死別したリトアニア女で、イタリアの難民キャンプで知りあった漁師アントニオと彼の故郷の島＝ストロンボリに向かう。だが、よそ者に冷たい風土と彼女を理解しようとしない夫に絶望し、火山の噴火の混乱に乗じ、島を脱出しようと山を越え港を目指すが、灼熱に力尽き、噴火口近くで一夜を明かす。しかし、翌朝目覚めると聖なる力がみなぎっているのを感じた彼女は、再びこの地で生き直そうと、神に祈りを捧げるのだった……。生活の細密な描写が活きて、いささか唐突な（しかし、迫力充分の）クライマックスを支えている。

【クレジット】

監督	ロベルト・ロッセリーニ	Roberto Rossellini	
製作	ロベルト・ロッセリーニ	Roberto Rossellini	
原案	ロベルト・ロッセリーニ	Roberto Rossellini	
脚本	セルジオ・アミディ	Sergio Amidei	
	アート・コーン	Art Cohn	
	ロベルト・ロッセリーニ	Roberto Rossellini	
	ジャン・パオロ・カレガリ	Gian Paolo Callegari	
	レンツォ・チェザーナ	Renzo Cesana	
撮影	オテッロ・マルテッリ	Otello Martelli	
編集	ヨランダ・ベンヴェヌーチ	Jolanda Benvenuti	
音楽	レンツォ・ロッセリーニ	Renzo Rossellini	
出演	イングリッド・バーグマン	Ingrid Bergman	カーリン
	マリオ・ヴィターレ	Mario Vitale	アントニオ
	レンツォ・チェザーナ	Renzo Cesana	司祭
	マリオ・スポンゾ	Mario Sponzo	灯台守
	ガエタノ・ファムラロ	Gaetano Famularo	（クレジットなし）

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.